

技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

事業実施報告書【ラオス】

担当講師	稲川 文夫 (SESPP事務局技術顧問)
実施期間	2024年9月23日(月)～9月27日(金)
実施場所	ラオス ビエンチャン市 技能開発院 (SDI)
研修	技能評価者講習 (SAT)
実施職種	機械検査 3 級

2024年12月

結果概要

1. 対象者数：SAT 受講者数 10名 / 修了者数 10名

2. 日程

日時	実施内容
9月23日(月) 8:30~16:30 (全て現地時間)	【技能評価者講習 (SAT)】 (1)研修スケジュール説明 (2)日本の技能検定制度について (3)ノギスとマイクロメータの読み方指導 ・マイクロメータの0点調整の方法 (4)測定作業実習 (5)評価者の役割と責務 (6)実技試験実施方法及び運営上の留意点について ・受検者に対する試験前注意事項用紙の使い方 ・解答用紙、採点用紙の説明と使い方 (7)実技試験に必要な機器・機材・備品等について (8)実技試験会場の設営及び機材の配列 (9)評価者チームの編成と役割分担
9月24日(火) 8:30~16:30	【技能評価者講習 (SAT)】 (1)実技試験の説明(作業1~作業3) (2)ねじの有効径の求め方を説明 (3)マイクロメータの器差の求め方を説明 (4)測定部品(A)、(B)を使って測定作業演習 (5)評価者と受検者に分かれて実技試験を Role play
9月25日(水) 8:30~16:30	【技能評価者講習 (SAT)】 (1) Role play (全員が評価者と受検者を演じる) (2) 正解値の求め方演習 ・作業1と作業3の正解値を求める ・減点表作成 (3) 採点作業演習
9月26日(木) 8:30~16:30	【技能評価者講習 (SAT)】 (1) 模擬実技試験(作業1と作業3) ・全員が作業1と作業3を模擬受検 (2) 全員の解答用紙を使って採点作業 ・実技試験結果表作成

<p>9月27日(金) 8:30~15:00</p>	<p>【技能評価者講習 (SAT)】</p> <p>(1) 学科試験問題の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学科試験問題の構成 ・ 試験問題の解き方を解説 ・ ISO 規格や JIS 規格を説明 <p>(2) 総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートへの回答
--------------------------------	---

3. 講評

- (1) 今回、技能評価者講習を実施した部屋は、空調が完備されていた。
精密測定作業をする際には、室温を一定温度に保つことは極めて重要で、とりわけ注意を払う項目である。空調設備のおかげで、室温を一定温度(24℃)に管理することができ、温度変化による測定誤差を防止することができた。
一方、部屋を出入りする際に、ドアを閉めない等、温度管理に無頓着な者も見受けられた。そのため、線膨張係数と温度変化による鉄鋼材料の伸びを解説し、併せてブロックゲージを素手で扱うことが誤差要因になることを説明した。この2つの事例を通して、精密測定には温度管理が、いかに重要であるかを理解させた。
- (2) 受講者の中に、マイクロメータ、ノギスによる測定値(目盛り)の読み方がよくわからない者が2人おり、測定技能のレベル差が大きいグループであった。
今回準備した「マイクロメータ、ノギスの使い方及び測定値(目盛り)の読み方」という測定の初心者用教材は、非常に有効で、その後の測定実習やRole Playをスムーズに進めることができた。
- (3) 受講者の多くは、マイクロメータ、ノギスを使った測定作業をスムーズに行っていた。
しかし、1/1000ミリ単位で部品を測定する場合、同じ個所をダブルチェックで測定した測定値が一致しない場面が多々見られ、測定技能を向上させるために、経験を積む必要のある者も数人見受けられた。次回のSETまでに練習を積んで測定技能を向上させるよう指示をした。
- (4) 日本の専門家による精密測定に関する講習は、今回初めて受講するとのことである。
測定器や測定補助具の正しい取り扱い方法については、ネット上で容易に情報が取れるので、自分の知りたい情報にアクセスして学習するよう助言した。
併せて、ブロックゲージ、ねじゲージ、三針、測定器等の保守管理の重要性、錆を防ぐための保守方法を説明し、細心の注意を払って保管するよう助言した。

4. アンケート結果

<SAT>

◆受講者 10 名（回答者 10 名）（※5 段階評価）

満足度：	5: 大変満足=10 人	4: 満足=0 人
役立ち度：	5: 大変役立つ=9 人	4: 役立つ=1 人
継続性：	5: 是非継続すべき=7 人	4: 継続すべき=3 人

【改善点・提案】

- ・ 可能であれば、日本での研修や視察の実施をお願いしたい。(2)
- ・ 事前に測定器や工具等を準備・用意しておいてほしい。(3)
- ・ 本研修を継続して実施してほしい。(2)
- ・ 研修測定用の機器等を用意してほしい。
- ・ 可能であれば、これより研修期間を長くしてほしい。

【意見・感想・実施希望】

- ・ 電気工事の職種
- ・ 金属加工の職種
- ・ 自動車の職種（シリンダーゲージ）
- ・ 本職種の 2 級
- ・ 油圧・電子機器
- ・ 家庭用エアコン工事の職種の技能検定試験の研修をお願いしたい。
- ・ 将来的には、自動車部品の検査という職種に関する研修実施をお願いしたい。(2)

◆現地責任者 1 名（回答者 1 名）

継続性：	5: 是非継続すべき=0 人	4: 継続すべき=1 人
------	----------------	--------------

【改善点・提案】

- ・ 研修内容は、受講者や関係者から、彼らの職場の同僚等に共有されるべきである。
- ・ 評価者と日本の専門家間のネットワークとコミュニケーションを維持するために、オンラインミーティングは継続すべきと考える。

【意見・感想・実施希望】

- ・ 物流部門、特にフォークリフト
- ・ 建設と ICT、衣料
- ・ SDI と SESPP が共同認証を行うことで、日系企業にとっても魅力のある技能検定と認定の促進につながると思われる。